



衆議院議員（福岡 10 区選出）

2022.9 きたかしレポート

きたかし

〒802-0071 北九州市小倉北区東篠崎 1-4-1-201 TEL.093-941-7767 FAX.093-941-5535
(ウェブサイト) <http://www.kiitaka.net> (メールアドレス) smail@kiitaka.net

地元北九州を代表して、党政調会長代行、予算委員会委員、国土交通委員会理事として活動

憲法に基づき国会召集を要求

皆さん、こんにちは。
衆議院議員のきたかしです。

8月18日、立憲民主党をはじめとした野党から憲法53条に基づく臨時国会召集の要求書を衆参両院の議長に提出しました。新型コロナウイルスの第7波、物価高、各地で相次ぐ大雨被害、旧統一教会にまつわる問題、安倍元総理の国葬など国会で議論すべき問題が山積していると考えているからです。



しかし、いまだ政府は国会の開会には消極的であるようです。これは国会の軽視であり、国民が選んだ国民の代表者である国会議員を軽視するということでもあります。国民の暮らしを守るために一刻も早く国会での議論を行うべきです。

新型コロナは第7波の感染拡大で、医療崩壊に陥る医療現場からは早期解決を望む声が届いています。「100回電話をしても入院できず10時間後にお亡くなりになった」という事例もありました。救急搬送困難事案の解消は最優先課題です。2類相当としている感染法上の位置づけの見直し、感染者の全数把握の見直しなどにより、できる限り医療現場の負担を軽減させるべきです。

安倍元総理の国葬については、個人としてのお悔みの気持ちを尊重することは大切である一方、「国の葬儀」を実施しようとするならば、憲法の定める国権の最高機関である国会での十分な議論が必要だと思っています。国民の税金から費用を支出するのであれば、閣議決定だけを根拠とするのではなく、衆参両院で十分な議論を行ってから実施の決定をすべきです。

旧統一教会にまつわる問題で、連日多くの報道がなされています。憲法20条に規定されるとおり信教の自由は尊重されるべきですが、宗教法人により公共の福祉が害されている可能性がある場合には、政治家は宗教法人に対して慎重に対応するべきであると考えています。そのような場合には当該団体が宗教法人としてふさわしい団体であるのか、法に照らして判断されるべきです。国会でしっかりと議論する必要があると思っています。

各地で相次ぐ大雨被害を受けた災害対策も急務です。被害を受けた国道や河川施設、鉄道などの早期完全復旧、自治体への激甚災害の指定、特別交付税等の十分な財政措置など、現場の声をもとにして政府に対して対応を促していきます。

地元北九州市でも、国民の暮らしと安全を守るために、皆さんの声をもとに、党派を超えて国会で議論すべきと訴えています。引き続きのご支援を宜しくお願いいたします。

衆議院議員 きたかし

きたかしと共に福岡県政を改革！

2022.9 きたかしレポート

地元北九州市で頑張る仲間たちを紹介します



原田ひろし

小倉北区

【無所属】福岡県議会議員4期



おがたふみのり

門司区

【立憲民主党】県政担当

北九州市から国への提案を伺いました



8月3日、北九州市と地元関係国会議員との懇談会に出席しました。北橋健治北九州市長から市政報告、副市長から来年度の国の予算に対する北九州市からの要望を伺いました。

私からは令和4年度の北九州市関連予算の確保ができたことを確認しながら、地元のことは党派を超えて実現に取り組む旨をお話しした上で、小中学校でのタブレット端末の更新への国の支援の必要性や旦過市場の整備への国の支援の必要性について詳細をお尋ねしました。実現に向けて引き続き全力で取り組みます。



衆議院議員 きたかし（城井 崇）のプロフィール

地元北九州で東奔西走。3子のパパとしても子育て奮闘中。

1973年（昭和48年）北九州市門司区生まれ。田野浦小・早稲中・門司高・北九州予備校（2浪）、京都大学卒。松下政経塾、前原誠司代議士秘書等を経て、03年衆院選で初当選。09、17、21年衆院選で当選（現在4期目）。文部科学大臣政務官、衆院予算委理事、文部科学委理事等を歴任。現在、衆議院国土交通委員会理事、予算委員会委員、科学技術・イノベーション推進特別委員会委員等、党政務調査会長代理、党広報本部副部長、党子ども子育てプロジェクトチーム座長、党福岡県連代表、党福岡県第10区総支部長。得意分野：教育、科学技術、安全保障、行政改革。好きな食べ物：ラーメン、焼肉、焼きカレー。

